

【プログラムⅡー①ー1】

**テーマ** 親子のコミュニケーション

**プログラム** 子どものほめ方・しかり方

**ねらい** 子どもに対するほめ方やしかり方についてロールプレイングをしたり、話し合ったりすることを通して、場や状況に応じたよりよい言葉かけについて考える。

<展 開 (60分) >

| 時間               | 展 開 (進行マニュアル)  | 展開のポイント   |
|------------------|--|---|
| 導入<br>10分        | 1 テーマの説明<br>2 アイスブレイキング<br>・自己紹介<br>・仲間さがし<br>3 「3つの約束」の確認   | ・参加者の緊張をほぐし、グループ内での円滑な話し合いのためにアイスブレイキングを行う。<br><3つの約束><br>① 一人一人が主役です<br>② お互いの意見を尊重しましょう<br>③ ここだけの話にします   |
| 展開<br>(1)<br>20分 | 4 子どもをしかる時のよりよい言葉かけについて考える。<br>① ラベルに記入する<br> ワークシートを配ります。子どもを叱ったときに、うまくいかなかった経験や言葉かけについて思い返してメモし、ラベルに記入しましょう。<br>② ラベルワークを行う<br> ラベルに書いたことを一人ずつ説明しながら用紙に貼り付けていきましょう。同じものがあったら、近くに貼り付けて、分類しましょう。<br>③ グループで話し合う<br> グループ内の皆さんの経験を聞いて、子どもの叱り方について感じたことを話し合しましょう。後で、グループの代表の方に発表してもらいます。<br>④ 全体の場で発表する | <ワークショップ1 (ラベルワーク) ><br>子どもを叱ったときに、うまくいかなかった経験、言葉にはどんなものがあるか<br>例：感情的になってしまった。<br>前のことを持ち出して長く説教<br>「だからあんたはだめなのよ」など<br>・すべての参加者の考えに対して、共感的に受け止めるようにする。   |
| 展開<br>(2)<br>20分 | 5 子どもへのよりよい言葉かけについて考える。<br>○ ワーク2に記入し、ロールプレイングを行う<br> 子供役と親役に分かれて、ロールプレイングをしましょう。気づいたことを後で話し合しましょう。<br>※ 代表のグループがロールプレイングを発表する。   | <ワークショップ2 (ロールプレイング) ><br>① 花瓶をこわした時<br>② できなかったことができるようになった時<br>例：「自分から話してくれて嬉しいな」<br>「今忙しいから後で聞かせてね」<br>「すごいじゃない。頑張ったね」<br>・言葉でのほめ方だけでなく、表情や手振り等の表現を工夫することにも気づいてもらう。<br>・「あなた」を主語にしたYOUメッセージ*だけでなく、「私」を主語にしたIメッセージ*のよさについても伝える。 |
| まとめ<br>10分       | 6 まとめ<br>・読み聞かせ<br>・今日の学習の感想<br> 最後に、「うんちっち」という絵本を読みます。これからも子どもの気持ちに寄り添って言葉かけができるといいですね。  | ・絵本「うんちっち」(ステファニ・ブレイク作 あすなろ書房)の読み聞かせを聞き、子どもの気持ちに寄り添うことの大切さに気付かせる。<br>・今日の学習の感想を書かせる。  |

\*YOUメッセージ…「あなたは〇〇だね」と相手を主語にして観察したことや感じたことを伝えるメッセージ  
 \*Iメッセージ… 「私は〇〇だよ」と発信する人の「私 (I)」を主語にして感じたことを伝えるメッセージ

## 『【11-①-1】子どものほめ方・しかり方』ワークシート

### ワーク1 (ラベルワーク)

＜課題＞子どもを叱ったときにうまくいかなかった経験や言葉かけには、どのようなものがありますか。

メモ

### ワーク2 (ロールプレイング)

＜場面設定＞① 家の中で暴れていて、大事な花瓶をこわしてしまって、子どもが何も言わない時。  
② 夕食の支度をしている最中に、子どもが「今日、水泳で初めて5メートル泳げたよ。」と言ってきた時。

＜子ども役＞

(例) ・「・・・。」(何も言わないでだまっている。)  
・「お母さん、やったよ。今日、水泳で初めて5メートル泳げたよ。」



＜親役＞

＜今日の学習の感想＞

【プログラムⅡー①ー2】

**テーマ** 親子のコミュニケーション

**プログラム** 子どもの悩みを聞いてみよう

**ねらい** 思春期の子どもの悩みについて話し合ったり、ロールプレイングをしたりすることを通して、親子のコミュニケーションの在り方について考える。

<展 開 (60分) >

| 時間               | 展 開 (進行マニュアル)   | 展開のポイント   |
|------------------|---|---|
| 導入<br>10分        | 1 テーマの説明<br>2 アイスプレイング<br>・自己紹介<br>・フルーツバスケット<br>3 「3つの約束」の確認   | ・参加者の緊張をほぐし、グループ内での円滑な話し合いのためにアイスプレイングを行う。<br><3つの約束><br>① 一人一人が主役です<br>② お互いの意見を尊重しましょう<br>③ ここだけの話にします  |
| 展開<br>(1)<br>20分 | 4 思春期の子どもの悩みについて考える。<br>① ラベルに記入する<br> <p>思春期の子どもの悩みについて考えましょう。実際に子どもが悩んでいることだけでなく、自分が子どもの頃悩んでいたことや、一般的な子どもの悩みなどもあげてください。</p> ② ラベルワークを行い、グループ・全体で話し合う<br> <p>意見を、身体のこと、学力のこと、友人・異性関係、親子関係などのカテゴリーで分けましょう。どんなカテゴリーの悩みが多く挙げられたでしょうか。</p> | <ワークショップ1 (ラベルワーク) ><br>思春期の子どもの悩みについて考えましょう。<br>例：「うちの子は友達関係で悩んでいます」「自分は運動が苦手で悩んでいました」「父親とうまくいっていない」など<br>・実際に子どもが悩んでいることだけでなく、自分が子どもの頃悩んでいたことや、一般的な子どもの悩みなども挙げる。<br>・意見を、身体のこと、学校のこと、友人・異性関係、親子関係などのカテゴリーで分けた後で、話し合う。 |
| 展開<br>(2)<br>20分 | 5 子どもの悩みに対するよりよい言葉かけについて考える。<br>① ワーク2に記入し、ロールプレイングを行う<br> <p>子どもの悩みに対するよりよい言葉かけについて考えましょう。悩みの内容については、事前にペアで話し合っ決めてください。</p> ② グループ・全体で話し合う<br> <p>他のペアの方のロールプレイングを御覧になっていかがでしたか。これまでの自分の子どもへの対応についても振り返ってみましょう。</p>                  | <ワークショップ2 (ロールプレイング) ><br>子どもが普段より元気がなく、悩みを打ち明けたそうな時。<br>例：「お母さんも子どもの頃悩んでいたよ」「学校の先生に相談してみたらどうかな」「お父さんと一緒に頑張ってみるか」など<br>・悩みの内容については、事前にペアで話しあって決める。<br>・話し合いでは、ロールプレイングを見た感想だけでなく、これまでの自分の子どもへの対応についても振り返ってもらう。          |
| まとめ<br>10分       | 6 まとめ<br>・読み聞かせ<br>・今日の学習の感想<br> <p>最後に、「きもち」という絵本を読みます。思春期のお子さんの悩みに少しでも寄り添ってあげられるといいですね。</p>  | ・「きもち」(ジャンン・ケイン作、少年写真新聞社)の読み聞かせを聞き、子どもの悩みに寄り添うことの大切さに気付かせる。<br>・今日の学習の感想を書かせる。  |

## 『【11-①-2】子どもの悩みを聞いてみよう』ワークシート

### ワーク1 (ラベルワーク)

<課題>思春期の子どもの悩みについて考えましょう。

メモ

### ワーク2 (ロールプレイング)

<場面設定>子どもが普段より元気がなく、悩みを打ち明けたそうな時。

<子ども役>

(例)「お母さん、学校の友達が最近無視するんだ。」



<親役>

<今日の学習の感想>

【プログラムⅡ-②-1】

**テーマ** 家庭のしつけとルール

**プログラム** 早寝・早起き・朝ごはんの生活習慣

**ねらい** 子どもの早寝・早起き・朝ごはんの生活習慣向上のために気をつけることを話し合い、早寝・早起き・朝ごはんのための我が家のルールを考える。

<展 開 (60分) >

| 時間               | 展 開 (進行マニュアル)  | 展開のポイント   |
|------------------|--|---|
| 導入<br>10分        | 1 テーマの説明<br>2 アイスブレイキング<br>・自己紹介<br>・4つのコーナー<br>3 「3つの約束」の確認   | ・参加者の緊張をほぐし、グループ内での円滑な話し合いのためにアイスブレイキングを行う。<br><3つの約束><br>① 一人一人が主役です<br>② お互いの意見を尊重しましょう<br>③ ここだけの話にします   |
| 展開<br>(1)<br>20分 | 4 「早寝・早起き・朝ごはん」の生活習慣を身に付けることよさについて考える。<br>① ラベルに記入する<br> 早寝・早起き・朝ごはんを身に付けると、どのようなよいことがあるのでしょうか。自分の考えをラベルに記入しましょう。<br>② ラベルワークを行い、グループで話し合う<br> グループで一人ずつ説明しながら用紙に貼り付けましょう。出た意見を分類し、話し合いましょう。様々な考えがあり、とても参考になりましたね。<br>③ 全体で話し合う                        | <ワークショップ1 (ラベルワーク) ><br>「早寝・早起き・朝ごはん」の生活習慣が身に付くと、どのようなよいことがあるのでしょうか。<br>例：「生活のリズムを整えられる」<br>「健康な体をつくれる」<br>「学習に集中できる」など<br>・出た意見を分類し、話し合う。<br>分類例：体調面、生活面、学習面   |
| 展開<br>(2)<br>20分 | 5 早寝・早起き・朝ごはんの生活習慣向上のために「我が家で気をつけたいこと」を考える。<br>① ワーク2に記入する<br> 早寝・早起き・朝ごはんの生活習慣向上のために「気をつけたいこと」を考えましょう。子どもだけでなく、親も一緒に努力していけるようなことを考えましょう。<br>② グループで話し合う<br> 「我が家で気をつけたいこと」については、それぞれの家庭にあった数でいいですよ。グループや全体の発表を聞いて、自分が考えたことを修正してもいいですよ。<br>③ 全体で話し合う | <ワークショップ2 (話し合い) ><br>早寝・早起き・朝ごはんの生活習慣向上のために「我が家で気をつけたいこと」を考えよう。<br>例：「9時になったらテレビを消す」<br>「夕食はできるだけ家族と一緒に食べる」<br>「寝る前に読み聞かせや読書をする」など<br>・子どもだけでなく、親も一緒に努力していけるようなことを考えてもらう。<br>・グループや全体の発表を聞いて、自分が考えたことを修正してもよい。<br>・「気をつけたいこと」については、いくつでもかまわないことを伝える。 |
| まとめ<br>10分       | 6 まとめ<br>・読み聞かせ<br>・今日の学習の感想<br> 最後に、「14ひきのあさごはん」という絵本を読みます。早寝・早起き・朝ごはんの生活習慣向上のために、できることからやっているといいですね。  | ・絵本「14ひきのあさごはん」(いわむらかずお作、童心社)の読み聞かせを聞き、早寝・早起き・朝ごはんの実践化に向けて意欲をもたせる。<br>・今日の学習の感想を書かせる。   |

## 『【11-②-1】早寝・早起き・朝ごはんの生活習慣』ワークシート

### ワーク1 (ラベルワーク)

＜課題＞「早寝・早起き・朝ごはん」の生活習慣が身に付くと、どのようなよいことがあるのでしょうか。

メモ

### ワーク2 (話し合い)

＜課題＞早寝・早起き・朝ごはんの生活習慣向上のために「我が家で気をつけたいこと」を考えましょう。

＜今日の学習の感想＞

【プログラムⅡ-②-2】

**テーマ** 家庭のしつけとルール

**プログラム** あいさつ返事・言葉遣い

**ねらい** あいさつや返事ができなかつたり、言葉遣いが悪かつたりしたときの対応について考える。

<展 開 (60分) >

| 時間               | 展 開 (進行マニュアル)   | 展開のポイント   |
|------------------|---|---|
| 導入<br>10分        | <p>1 テーマの説明</p> <p>2 アイスブレイキング</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己紹介</li> <li>・同じ色あつまれ</li> </ul> <p>3 「3つの約束」の確認</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者の緊張をほぐし、グループ内での円滑な話し合いのためにアイスブレイキングを行う。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;3つの約束&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 一人一人が主役です</li> <li>② お互いの意見を尊重しましょう</li> <li>③ ここだけの話にします</li> </ol> </div>                            |
| 展開<br>(1)<br>20分 | <p>4 あいさつや言葉かけについて考える。</p> <p>① ラベルに記入する</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1日の生活の中で、子どもにあいさつや言葉かけをするのは、どんな時がありますか。日頃の自分のあいさつや言葉かけをラベルに記入しましょう。</p> </div> <p>② ラベルワークを行い、グループで話し合う</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ラベルに書いたあいさつや言葉かけを、一人ずつ説明しながら用紙に貼り付けていきましょう。同じものがあつたら近くに貼り付けて、分類しましょう。その中で、今まで子どもの反応がなかったことがありますか。</p> </div> | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;ワークショップ1 (ラベルワーク) &gt;</p> <p>子どもへのあいさつや言葉かけについて考えましょう。</p> </div> <p>例：「おはよう」<br/>「おかえりなさい」<br/>「今日は、どうだった？」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1日の生活を考え、「朝」「帰宅後」「夕食後」「休日」等の時間帯に分けて分類する。</li> <li>・反応がなかった場面を思い出させ、ワーク2のロールプレイングにつなげる。</li> </ul> |
| 展開<br>(2)<br>20分 | <p>5 子どもへのよりよい言葉かけについて考える。</p> <p>① ワークシートに記入し、ロールプレイングを行う</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>子ども役と親役に分かれて、ロールプレイングをしましょう。子どもに無視されたときのよりよい言葉かけについて考えましょう。役割はペアで話し合ってください。</p> </div> <p>② 代表のペアがロールプレイングを発表する</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>他のペアの方のロールプレイングをご覧になっていかがでしたか。これまでの自分の子どもへの対応について、振り返ってみましょう。</p> </div>           | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;ワークショップ2 (ロールプレイング) &gt;</p> <p>学校から無言で帰って来た子どもに、「おかえり」と言って無視されたとき</p> </div> <p>例：「返事しなさい」<br/>「何で何も言わないの」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワーク1のラベルワークで、反応がなかった物の中から、テーマを選んでよい。</li> </ul>   |
| まとめ<br>10分       | <p>6 まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読み聞かせ</li> <li>・今日の学習の感想</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>最後に「こんにちは」という本を紹介します。これから新たな気持ちで、お子さんへあいさつや言葉かけができるといいですね。</p> </div>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「こんにちは」(本間正樹作 佼成出版)の読み聞かせを聞き、あいさつが人を結び付け、仲間を作り、自分の心を明るくすることに気付かせる。</li> <li>・今日の学習の感想を書かせる。</li> </ul>  |

## 『(11-②-2) あいさつ返事・言葉遣い』ワークシート

### ワーク1 (ラベルワーク)

<課題>子どもへのあいさつや言葉かけについて考えましょう。

メモ

### ワーク2 (ロールプレイング)

<場面設定>学校から帰って来た子どもに「おかえり」と言って無視された時

メモ

<今日の学習の感想>

【プログラムⅡ-②-3】

**テーマ** 家庭のしつけとルール

**プログラム** 約束を守る

**ねらい** 親子で決めた約束が守れなかったときの対応や約束を守るためのしかけについて考える。

<展開(60分)>

| 時間               | 展開(進行マニュアル)  | 展開のポイント  |
|------------------|--|--|
| 導入<br>10分        | <p>1 テーマの説明</p> <p>2 アイスブレイキング</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己紹介</li> <li>・仲間探し など</li> </ul> <p>3 「3つの約束」の確認</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者の緊張をほぐし、グループ内での円滑な話し合いのためにアイスブレイキングを行う。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;3つの約束&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 一人一人が主役です</li> <li>② お互いの意見を尊重しましょう</li> <li>③ ここだけの話にします</li> </ol> </div>   |
| 展開<br>(1)<br>25分 | <p>4 約束を守れない理由と対応について考える。</p> <p>① ラベルに記入する</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>あらかじめグループごとに配ってある用紙に、子どもたちの言い訳を記入したラベルを貼っていきます。</p> </div> <p>② ラベルに書いた「言い訳」に対するロールプレイングを行う</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>親役と子役に分かれて、ロールプレイングをしましょう。<br/>子役の人は、ラベルの言い訳をもとに親役の人へ投げかけます。<br/>親役の人は子役の人へどんどん言い返していきます。</p> </div> <p>③ グループで話し合う</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ロールプレイングをもとに、それぞれの対応がどうだったか見つめ直していきましょう。</p> </div> <p>④ 代表のグループがロールプレイングを発表する</p> | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;ワークショップ1(ラベルワーク)&gt;<br/>子どもの目線になって、約束が守れなかったときの言い訳を考えましょう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トレーナーがあらかじめ、全体でのテーマとなる約束を決めておきましょう。</li> <li>例：約束「夜〇時までには寝よう」</li> <li>・ゲームがやめられなかった。</li> <li>・おもしろいテレビがあった。など。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;ワークショップ2(ロールプレイング)&gt;<br/>ラベルワークの言い訳について、親としての対応をします。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・すべての言い訳は、起こり得るものとして肯定する。</li> <li>・受けごたえの難しさについて実感しつつ、より応用性のある対応についてグループで考察する。</li> </ul> |
| 展開<br>(2)<br>15分 | <p>5 約束を守るためのしかけについて考える。</p> <p>① ラベルに記入する</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>どのようにすれば、より約束を守れるようになるかロールプレイングを参考にラベルへ記入します。</p> </div> <p>② グループで話し合う</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ラベルワークの内容を参考に、約束を守るしかけについてグループでまとめましょう。</p> </div> <p>③ 全体の場で発表する</p>   | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;ワークショップ3(ラベルワーク)&gt;<br/>どうすれば、より約束を守ることができるかどうか考えましょう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワーク2のロールプレイングをもとに考える。</li> <li>・できなかったら罰を与えたり、できたらご褒美(物)を与えたりということは、本日のグループワークではしないように呼びかける。</li> <li>・すべての発表に対して、共感的に受け止めるようにする。</li> </ul>  |
| まとめ<br>10分       | <p>6 まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読み聞かせ</li> <li>・今日の学習の感想</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>最後に「ともだちのやくそく」という絵本を読みます。絵本ですが、子どもの気持ちになって、これからの家庭での約束について見つめ直してみましょう。</p> </div>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本「ともだちのやくそく」(中川ひろたか作 アリス館)の読み聞かせを聞き、子どもの視点で約束を立てる重要性、約束を守ることの大切さ、守れなかったときに起こること、守れたときの喜びを親子で共感することの大切さに気付かせる。</li> <li>・今日の学習の感想を書かせる。</li> </ul>   |

## 『(11-②-3) 約束を守る』ワークシート

### ワーク1 (ラベルワーク)

<課題>子どもの目線になって、約束が守れなかったときの言い訳を考えましょう。

メモ

### ワーク2 (ロールプレイング)

<課題>ラベルワークの言い訳についての親としての対応

### ワーク3 (ラベルワーク)

<課題>どうすれば、より約束を守ることができるかどうか考えましょう。

メモ

<今日の学習の感想>

【プログラムⅡ-②-4】

**テーマ** 家庭のしつけとルール

**プログラム** 携帯電話やインターネットと親の対応①

**ねらい** 携帯電話やインターネットの光（メリット）と影（デメリット）を話し合い、携帯電話やインターネットの使い方についての我が家のルールを考える。

<展 開（60分）>

| 時間               | 展 開（進行マニュアル）   | 展開のポイント   |
|------------------|--|---|
| 導入<br>10分        | 1 テーマの説明<br>2 アイスブレイキング<br>・自己紹介<br>・同じ色集まれ<br>3 「3つの約束」の確認  | ・参加者の緊張をほぐし、グループ内での円滑な話し合いのためにアイスブレイキングを行う。<br><br><3つの約束><br>① 一人一人が主役です<br>② お互いの意見を尊重しましょう<br>③ ここだけの話にします   |
| 展開<br>(1)<br>20分 | 4 携帯電話やインターネットの光（メリット）と影（デメリット）について考える。<br>① ラベルに記入する<br> <p>子どもが携帯電話やインターネットを使う時の光（メリット）と影（デメリット）は何でしょう。体験談や知人の話、マスコミ等の情報などから考えてみましょう。</p> ② ラベルワークを行い、グループ・全体で話し合う<br> <p>影（デメリット）に対しては、親の対応について具体的に考えてみましょう。様々な情報を聞くことができ、とても参考になりましたね。</p>     | <ワークショップ1（ラベルワーク）><br>子どもが携帯電話やインターネットを使う時の光（メリット）と影（デメリット）は何でしょう。<br><br>例：「すぐに分からないことを調べられる」「メールなど依存してしまう恐れもある」「出会い系サイトなど危険性もある」など<br><br>・体験談や知人の話、マスコミ等の情報などから光（メリット）と影（デメリット）の両面で考える。参加者から意見が出にくい時は、進行役がいくつか具体例を例示する。<br>・影（デメリット）に対しては、親の対応について具体的に考える。 |
| 展開<br>(2)<br>20分 | 5 携帯電話やインターネットの使い方についての我が家のルールを考える。<br>① ワーク2に記入する<br> <p>携帯電話やインターネットの使い方について、我が家のルール〇か条を考えましょう。子どもだけでなく、親も一緒に努力していけるようなルールを考えましょう。</p> ② グループ・全体で話し合う<br> <p>「〇〇家のルール〇か条」については、それぞれの家庭にあった数のルールでいいですよ。グループや全体の発表を聞いて、自分が考えたルールを修正してもいいですよ。</p> | <ワークショップ2（話し合い）><br>携帯電話やインターネットの使い方についての「〇〇家のルール〇か条」を考えよう。<br><br>例：「危険なサイトは利用しない」「ネットに悪口を書き込まない」「使い過ぎない」など<br><br>・グループや全体の発表を聞いて、自分が考えたルールを修正してもよい。<br>・「〇〇家のルール〇か条」については、それぞれの家庭にあった数のルールを考えてもらう。   |
| まとめ<br>10分       | 6 まとめ<br>・ブックトーク<br>・今日の学習の感想<br> <p>最後に、「ちょっとまって！ケータイ&amp;スマホ」という文部科学省のリーフレットを紹介します。お子さんの携帯電話やインターネット利用に対して親としての心構えがもてるといいですね。</p>   | ・「ちょっとまって！ケータイ&スマホ」（平成24年度文部科学省リーフレット）のブックトークを聞き、子どもの携帯電話やインターネット利用への親の心構えをもたせる。<br>・今日の学習の感想を書かせる。   |

## 『【11-②-4】携帯電話やインターネットと親の対応①』ワークシート

### ワーク1 (ラベルワーク)

＜課題＞子どもが携帯電話やインターネットを使う時の光（メリット）と影（デメリット）は何でしょう。

～メモ～

| メリット | デメリット |
|------|-------|
|      |       |

### ワーク2 (話し合い)

＜課題＞携帯電話やインターネットの使い方についての「〇〇家のルール〇か条」を考えよう。

＜今日の学習の感想＞

【プログラムⅡ-②-5】

**テーマ** 家庭のしつけとルール

**プログラム** 携帯電話やインターネットと親の対応②

**ねらい** SNSに夢中になる子どもの気持ちと親の対応について考える。

<展 開 (60分) >

| 時間                | 展 開 (進行マニュアル)  | 展開のポイント  |
|-------------------|--|--|
| 導入<br>10分         | 1 テーマの説明<br>2 アイスブレイキング <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自己紹介</li> <li>・ 仲間探し</li> </ul> 3 「3つの約束」の確認  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参加者の緊張をほぐし、グループ内での円滑な話合いのためにアイスブレイキングを行う。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           &lt;3つの約束&gt;           <ul style="list-style-type: none"> <li>① 一人一人が主役です</li> <li>② お互いの意見を尊重しましょう</li> <li>③ ここだけの話にします</li> </ul> </div>  |
| 展 開<br>(1)<br>20分 | 4 なぜSNSをするのかを考える。 <ul style="list-style-type: none"> <li>① ラベルに記入する</li> </ul> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">              子どもの気持ちになって、「なぜSNSをするのか」や「SNSのよさ」についてラベルに記入しましょう。           </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">             SNSばかりしていると困ることをラベルに記入しましょう。              </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>② ラベルワークを行い、話し合う</li> </ul> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;">              グループ内でラベルに書いたことを説明しながら発表し、感じたことを話し合しましょう。           </div> | <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">             &lt;ワークショップ1 (ラベルワーク)&gt;<br/>             子どもがSNSに夢中になるのはなぜか。           </div> <p>例：「友達もやっているから。」<br/>           「楽しいから。」<br/>           「友達と仲良くなれる。」</p> <p>例：「勉強をしない。」<br/>           「目が悪くなる。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多様な考え方を聞き、SNSをする子どもの気持ちやSNSのよさ SNSをやり過ぎることの問題点を考えてもらう。</li> </ul> |
| 展 開<br>(2)<br>20分 | 5 展開1で出た困ることを使ってロールプレイングを行う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>① ロールプレイングをする</li> </ul> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">             グループ内で子ども役と親役に分かれてロールプレイングをしましょう。              </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>② 感想を出し合い、どのような声かけや対応が効果的なのかを話し合う</li> </ul> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;">              気づいたことやどのような声かけが効果的か話し合しましょう。           </div>  | <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">             &lt;ワークショップ2 (ロールプレイング)&gt;<br/>             例題：SNSばかりをしていて、なかなかやめない。           </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 注意する親の気持ちはどうか。</li> <li>・ 親から言われる子どもの気持ちはどうか。</li> <li>・ 言われる子どもの気持ちを考えながら、どのように伝えるとよいかを話し合う。</li> </ul>  |
| まとめ<br>10分        | 6 まとめ <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ブックトーク</li> <li>・ 今日の学習の感想</li> </ul> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 10px;">             「子どもにスマホをもたせたら 親のためのリアルなデジタル子育てガイド」という本を紹介します。              </div>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「子どもにスマホをもたせたら 親のためのリアルなデジタル子育てガイド」(デボラ・ハイトナー著・星野靖子訳 NTT出版)を紹介する。</li> <li>・ 今日の学習の感想を書かせる。</li> </ul>  |

『【11-②-5】携帯電話とインターネットを親の対応②』

ワークシート

ワーク1 (ラベルワーク)

<課題> 子どもがSNSに夢中になるのはなぜか。

メモ

ワーク2 (ロールプレイング)

<場面設定> SNSばかりをしていて、なかなかやめない。

<今日の学習の感想>

【プログラム II-②-6】

テーマ 家庭のしつけとルール

プログラム 思いやりのある行動

ねらい 子どもが思いやりのある行動がとれた時ととれなかった時の対応について考える。

<展開(60分)>

| 時間               | 展開(進行マニュアル)  | 展開のポイント   |
|------------------|--|---|
| 導入<br>10分        | <p>1 テーマの説明</p> <p>2 アイスブレイキング</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己紹介</li> <li>・絵柄合わせ(仲間探し)</li> </ul> <p>3 「3つの約束」の確認</p>   | <p>・参加者の緊張をほぐし、グループ内での円滑な話し合いのためにアイスブレイキングを行う。</p> <p>&lt;3つの約束&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 一人一人が主役です</li> <li>② お互いの意見を尊重しましょう</li> <li>③ ここだけの話にします</li> </ol>   |
| 展開<br>(1)<br>20分 | <p>4 そもそも“思いやり”って何?</p> <p>① ラベルに記入する</p> <p>“思いやり”ってどんなことだと思いますか。自分の考えをラベルに記入しましょう。</p> <p>② ラベルワークを行い、グループで話し合い発表してもらう</p> <p>ラベルに書いたことを、一人ずつ説明しながら用紙に貼り付けていきましょう。</p>               | <p>&lt;ワークショップ1(ラベルワーク)&gt;</p> <p>“思いやり”ってどんなことだと思っているかを改めて考えてもらう。</p> <p>例: 「他人の気持ちになって考え行動できる」<br/>「思いやりとは共感力」</p> <p>・多様な考え方の声を聞き、改めて思いやりについて考えてもらう。</p>  |
| 展開<br>(2)<br>20分 | <p>5 子どもが思いやりのある行動がとれた時ととれなかった時に子どもに対してどんな対応・声掛けをするかを考える。</p> <p>① ロールプレイングを行う</p> <p>子ども役と親役に分かれて、ロールプレイングをしましょう。</p> <p>② 全グループがロールプレイングを発表する</p> <p>代表のグループにロールプレイングを発表してもらいます。</p> | <p>&lt;ワークショップ2(ロールプレイング)&gt;</p> <p>子: 学校から帰ろうとしていたら靴がなくて探している友達がいたんだ。</p> <p>親: あら困ったわね。あなたはどうしたの?</p> <p>①子: 一緒に探してあげたよ。</p> <p>②子: そのまま帰ったよ。</p> <p>①・②に対する親の対応、声かけを考える。</p> <p>・思いやりの行動がとれなかった子どもに対して、親の気持ちはどうか。</p> <p>・本当は、どんな行動を子どもにとってほしかったのか。それをどう子どもに伝えるか。</p> |
| まとめ<br>10分       | <p>6 まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読み聞かせ(絵本や新聞投稿)</li> <li>・今日の学習の感想</li> </ul> <p>最後に「LOVE」と「やさしさとおもいやり」いう本を紹介します。</p> <p>最後に新聞で見かけた児童の思いやりのある話を紹介します。</p>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「Love」(ジャン・ベルト ヴァンニ作 青山出版社)</li> <li>・やさしさとおもいやり(宮西達也作絵 ポプラ社)</li> <li>・児童の新聞投稿など(思いやりに関する)</li> <li>・物語の登場人物の気持ちを想像させ、何かしら気づきや共感をもってもらう。</li> <li>・今日の学習の感想を書かせる。</li> </ul>   |

## 『(11-②-6) 思いやりのある行動』ワークシート

### ワーク1 (ラベルワーク)

＜課題＞ “思いやり” ってどんな事だと思っているか改めて考えましょう。

メモ

### ワーク2 (ロールプレイング)

＜場面設定＞ 学校から帰ろうとしたら靴がなくて探している友達がいて…

①の場合の対応・言葉かけ

②の場合の対応・言葉かけ

＜今日の学習の感想＞

【プログラムⅡ-③-1】

**テーマ** 子どもの安全・健康

**プログラム** 子どもの安全について考えよう

**ねらい** 地域の中に潜む子ども達を取り巻くトラブルについて考え、子ども達を危険から守るための具体的な方策を考える。

<展開(60分)>

| 時間               | 展開(進行マニュアル)  | 展開のポイント   |
|------------------|--|---|
| 導入<br>10分        | 1 テーマの説明<br>2 アイスブレイキング<br>・自己紹介<br>・バースデーライン<br>3 「3つの約束」の確認  | ・参加者の緊張をほぐし、グループ内での円滑な話し合いのためにアイスブレイキングを行う。<br><3つの約束><br>① 一人一人が主役です<br>② お互いの意見を尊重しましょう<br>③ ここだけの話にします   |
| 展開<br>(1)<br>20分 | 4 地域の中に潜む子どもを取り巻くトラブルについて考える。<br>① ラベルに記入する<br> <p>地域の中で、子どもが巻き込まれる可能性のあるトラブルには、どのようなものがあるか考え、ラベルに記入しましょう。</p> ② ラベルワークを行い、グループ・全体で話し合う<br> <p>一人ずつ書いたものについて説明しながら用紙に貼り付けましょう。出た意見を分類し、見出しをつけましょう。それぞれのグループで出た意見を発表してください。</p> | <ワークショップ1(ラベルワーク)><br>地域の中で子どもが巻き込まれる可能性のあるトラブルには、どのようなものがあるでしょうか。<br>例：「交通事故」<br>「不審者による声かけ」<br>「近所の友達からの仲間はずれ」など<br>・グループで出た意見について発表してもらい、全体で共有する。<br>分類例：交通事故、犯罪、いじめなど   |
| 展開<br>(2)<br>20分 | 5 子ども達を危険から守るために自分たちができることを考える。<br>① ワーク2に記入する<br> <p>子どもをトラブルから守るために、私たちができることを考えましょう。参加者同士でできることを考えてもいいですよ。</p> ② グループ・全体で話し合う<br> <p>ワークショップ1で出た意見の中からテーマを1つ決めて、どんなことができるか話し合いましょう。参加者どうしてできることを話し合うのもいいですね。</p>          | <ワークショップ2(話し合い)><br>子ども達をトラブルから守るために、私たちにできることを考えましょう。<br>例：「犬の散歩を登下校の時間にしよう」<br>「土・日曜日に公園の遊具の点検をする」<br>「遅くまで遊んでいる子に声をかける」等<br>・ワークショップ1で出てきた意見についてテーマを1つ決め、自分たちにできることについて話し合う。<br>・グループで話し合ったことについて用紙に記入し、全体で発表する。 |
| まとめ<br>10分       | 6 まとめ<br>・読み聞かせ<br>・今日の学習の感想<br> <p>最後に、「みぎ・ひだり・みぎ」という絵本を読みます。子どもを危険から守るために、できることからやっていけるといいですね。</p>  | ・絵本「みぎ・ひだり・みぎ」(タナカヒロシ作、トニー鯨山絵、ベースボール・マガジン社)の読み聞かせを聞き、子どもの安全を守るための実践への意欲をもたせる。<br>・「イカのおすし」についてふれてもよい。<br>・今日の学習の感想を書かせる。  |

## 『(11-3-1) 子どもの安全について考えよう』ワークシート

### ワークシート1 (ラベルワーク)

＜課題＞地域の中で子どもが巻き込まれる可能性のあるトラブルには、どのようなものがあるでしょうか。

メモ

### ワークシート2 (話し合い)

＜課題＞子ども達をトラブルから守るために、私たちにできることを考えましょう。

テーマ

できること

＜今日の学習の感想＞

【プログラムⅡ-③-2】

**テーマ** 子どもの安全・健康

**プログラム** ゲームやテレビ等に費やす時間と影響

**ねらい** 子どものゲームやテレビなどの時間について振り返り、子どもの健康等に与える影響や実際の言葉かけについて考える。

<展開(60分)>

| 時間               | 展開(進行マニュアル)  | 展開のポイント   |
|------------------|--|---|
| 導入<br>10分        | <p>1 テーマの説明</p> <p>2 アイスブレイキング</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己紹介</li> <li>・30秒当て</li> </ul> <p>3 「3つの約束」の確認</p>   | <p>・参加者の緊張をほぐし、グループ内での円滑な話し合いのためにアイスブレイキングを行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;3つの約束&gt;</p> <p>① 一人一人が主役です</p> <p>② お互いの意見を尊重しましょう</p> <p>③ ここだけの話にします</p> </div>  |
| 展開<br>(1)<br>20分 | <p>4 ゲームやテレビの時間が多すぎるとどんな影響があるかについて考える。</p> <p>① ラベルに記入する</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ゲームやテレビの時間が多すぎるとどんな影響があるでしょう。体験談や知人の話、マスコミ等の情報などから考えてみましょう。</p> </div> <p>② ラベルワークを行い、グループ・全体で話し合う</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>意見を、身体のこと、学力のこと、家族関係などのカテゴリーで分けましょう。どんなカテゴリーの影響が多く挙げられたでしょうか。</p> </div>                 | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;ワークショップ(ラベルワーク)&gt;</p> <p>ゲームやテレビの時間が多すぎるとどんな影響があるでしょう。</p> </div> <p>例：「イライラする」<br/>「宿題が終わらない」<br/>「家庭の団らんの時間が無くなる」など</p> <p>・個人で考える時間を取った後、グループで話し合い、どんな課題があるかを確認する。</p>   |
| 展開<br>(2)<br>20分 | <p>5 ゲームやテレビの時間が多すぎ子どもに、どんな言葉をかけたらいいか考える。</p> <p>① ワーク2に記入し、ロールプレイングを行う</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>テレビやゲームの時間が多すぎる子どもに対するよりよい言葉かけについて考えましょう。場面設定については、事前にペアで話し合って決めてください。</p> </div> <p>② グループ・全体で話し合う</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>他のペアの方のロールプレイングをご覧になっていかがでしたか。これまでの自分の子どもへの対応についても振り返ってみましょう。</p> </div> | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;ワークショップ(ロールプレイング)&gt;</p> <p>ゲームやテレビをずっと続けており、いつまでたってもやめない時</p> </div> <p>例：「テレビの時間を決めようか」<br/>「今日はこの本を読んであげるよ」<br/>「テレビを消して、トランプをしよう」など</p> <p>・グループ内で、子ども役と親役に分かれてロールプレイングをする。</p> <p>・お互いのロールプレイングを見た感想を話し合い、効果的な言葉かけについて考える。</p> <p>・全体の場で、いくつかのペアにロールプレイングを発表してもらい、実践化への意欲をもたせる。</p> |
| まとめ<br>10分       | <p>6 まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブックトーク</li> <li>・今日の学習の感想</li> </ul> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>最後に、「『メディア漬け』で壊れる子どもたち」という本を紹介します。お子さんの健康を守るために、できることからやっていきましょう。</p> </div>   | <p>・「『メディア漬け』で壊れる子どもたち」(清川輝基作、少年写真新聞社)のブックトークを聞き、子どもの健康を守るための実践への意欲をもたせる。</p> <p>・今日の学習の感想を書かせる。</p>  |

## 『(11-③-2) テレビやゲーム等に費やす時間と影響』ワークシート

### ワーク1 (ラベルワーク)

<課題> ゲームやテレビの時間が多すぎるとどんな影響があるでしょう。

メモ

### ワーク2 (ロールプレイング)

<場面設定> ゲームやテレビをずっと続けており、いつまでたってもやめない時。

<子ども役>

(例) 「次は、どの番組を見ようかな。」



<親役>

<今日の学習の感想>

【プログラムⅡ-④-1】

テーマ 子どもの個性と夢

プログラム 我が子のPR～短所も長所～

ねらい 子どもの長所や短所を見つめなおし、短所も肯定的に捉えながら自分の子どもの個性を考える。

<展開(60分)>

| 時間               | 展開(進行マニュアル)   | 展開のポイント   |
|------------------|---|---|
| 導入<br>10分        | 1 テーマの説明<br>2 アイスブレイキング<br>・自己紹介<br>・名刺作り<br>3 「3つの約束」の確認   | <ul style="list-style-type: none"> <li>参加者の緊張をほぐし、グループ内での円滑な話し合いのためにアイスブレイキングを行う。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;3つの約束&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 一人一人が主役です</li> <li>② お互いの意見を尊重しましょう</li> <li>③ ここだけの話にします</li> </ol> </div>   |
| 展開<br>(1)<br>25分 | 4 子どもの長所や短所について考え、子どもの個性を改めて見つめ直す。<br>① ラベルに記入し、用紙に貼る<br> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px;">             あなたのお子さんの長所や短所は何ですか。付箋に記入し、子どものイラストが描かれた用紙に貼り付けましょう。           </div> ② グループ・全体で話し合う<br><div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px;">             付箋に書いた子どもの長所や短所について説明しましょう。他の方は、相手のお子さんの短所を肯定的に捉え直してあげましょう。それをもとに自分のお子さんの個性を考えてみるとういいですね。           </div>  | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;ワークショップ1(ラベルワーク)&gt;</p> <p>あなたのお子さんの長所や短所は何ですか。また、他の方は短所を肯定的な言葉で言い換えてあげましょう。</p> </div> <p>例：「どんな時でも笑顔を絶やしません」「すぐに人のせいにします」「怒りっぽい→自分の思いがある」など</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの長所や短所を付箋に書き、子どもの絵が書かれた用紙に貼ることで、子どもへの関心を可視化する。</li> <li>子どもの短所を肯定的に捉え直すことで、子どもの個性を認めるように促す。</li> </ul> |
| 展開<br>(2)<br>15分 | 5 子どもの個性を見つめ直す活動を受けて、我が子のPR文を考える。<br>① ワーク2に記入する<br> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px;">             子どもの個性をもとに、PR文を書いて発表しましょう。他の方に、短所を言い換えてもらった言葉を参考にしてPR文を書くとういいですね。           </div> ② グループ・全体で話し合う<br><div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px;">             グループや全体でPR文の情報交換することで、互いに親の願いを共有できますね。書いたPR文は後日、お子さんに読んであげるといいですね。           </div>               | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;ワークショップ2(話し合い)&gt;</p> <p>子どもの個性をもとに、PR文を書きましょう。</p> </div> <p>例：「私の子どもは落ち着きがありません。しかし、いろいろなことに興味があり、活動的だと言えます。」など</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>他の親に短所を言い換えてもらった言葉を参考にしながらPR文を書く。</li> <li>グループや全体でPR文の情報交換することで互いに親の願いを共有する。</li> <li>書いたPR文は後日、我が子に読んであげるように促す。</li> </ul>          |
| まとめ<br>10分       | 6 まとめ<br>・読み聞かせ<br>・今日の学習の感想<br> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px;">             最後に、「おこだでませんように」という絵本を読みませう。お子さんの長所や短所を見つめ直し、新たな気持ちでお子さんに接していけるといいですね。           </div>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>絵本「おこだでませんように」(くすのきしげのり作、石井聖岳絵、小学館)の読み聞かせを聞き、子どもの個性を肯定的に捉えることの大切さに気付かせる。</li> <li>今日の学習の感想を書かせる。</li> </ul>  |

## 『【11-④-1】我が子のPR～短所も長所～』ワークシート

### ワーク1 (ラベルワーク)

<課題>あなたのお子さんの長所や短所は何ですか。また、他の方は短所を肯定的な言葉で言い換えてあげましょう。

メモ

### ワーク2 (話し合い)

<課題>子どもの個性をもとに、PR文を書きましょう。

<今日の学習の感想>

【プログラムⅡ-④-2】

**テーマ** 子どもの個性と夢

**プログラム** 応援したい！子どもの夢や希望

**ねらい** 子どもがもっている将来の夢や希望、親自身の子どもの将来への希望を情報交換する活動を通して、親の子どもへの思いや願いを本音で共感し合う。

<展 開 (60分) >

| 時間               | 展 開 (進行マニュアル)   | 展開のポイント  |
|------------------|---|--|
| 導入<br>10分        | 1 テーマの説明<br>2 アイスブレイキング<br>・自己紹介<br>・後出しジャンケン<br>3 「3つの約束」の確認   | ・参加者の緊張をほぐし、グループ内での円滑な話し合いのためにアイスブレイキングを行う。<br><3つの約束><br>① 一人一人が主役です<br>② お互いの意見を尊重しましょう<br>③ ここだけの話にします  |
| 展開<br>(1)<br>20分 | 4 子どもがもっている将来への夢や希望について話し合う。<br>① ワーク1に記入する<br> <p>お子さんがもっている将来への夢や希望は何ですか。<br/>自分の考えをワーク1に記入しましょう。</p> ② グループ・全体で話し合う<br> <p>お子さんが将来の夢や希望をまだもっていない場合や、皆さんがご存じでない場合は、お子さんの長所を教えてください。<br/>自分が子どもの頃の将来の夢や希望でもいいです。</p>   | <ワークショップ1 (話し合い) ><br>お子さんがもっている将来への夢や希望は何ですか。<br>例：「人の役に立つ仕事に就きたいようです」「子どもの面倒をみるのが好きなようです」「看護師になりたいようです」など<br>・子どもが将来の夢や希望をまだもっていない場合や、親が知らない場合は、子どもの長所を言ってもらおう。  |
| 展開<br>(2)<br>20分 | 5 我が子の将来について、自分がどんな思いや願いをもっているか考える。<br>① ラベルに記入する<br> <p>皆さんは、お子さんの将来について、どんな思いや願いをもっておられますか。<br/>お子さんの夢や希望と違っていいので、思っていることを正直に書いてくださいね。</p> ② ラベルワークを行い、グループ・全体で話し合う<br> <p>子どもへの思いや願いを等身大の子どもの絵が書かれた模造紙に貼りましょう。頭、心臓、手、足など、等身大の子どもの絵のどの場所に貼られたラベルが多いでしょうか。</p> | <ワークショップ2 (ラベルワーク) ><br>あなたは、お子さんの将来について、どのような思いや願いをもっていますか。<br>例：「健康で、人並みに働いてくれればいい」「自分の夢を叶えてほしい」「地元に残って一緒に働いてほしい」など<br>・子どもの夢や希望と違っていいので、できるだけ親の本音を引き出す。<br>・子どもへの思いや願いをラベルに書き込み、等身大の子どもの絵が描かれた模造紙(頭、心臓、手、足など)に貼ることで、子どもへの思いや願いを可視化する。<br>・グループや全体で情報交換することで、お互いの親の思いや願いを共有する。 |
| まとめ<br>10分       | 6 まとめ<br>・ブックトーク<br>・今日の学習の感想<br> <p>最後に、「ぼくのしょうらいのゆめ」という本を読みます。<br/>お子さんの将来の夢や希望に寄り添いながらも、皆さんの思いや願いを伝えられるといいですね。</p>  | ・「ぼくのしょうらいのゆめ」(野口聡一他作、プチプラパブリッシング)のブックトークを聞き、子どもがもっている将来への夢や希望に寄り添うことのよさに気付かせる。<br>・今日の学習の感想を書かせる。   |

## 『【11-④-2】応援したい！子どもの夢や希望』ワークシート

### ワーク1 (話し合い)

<課題> お子さんがもっている将来への夢や希望は何ですか。

### ワーク2 (ラベルワーク)

<課題> あなたはお子さんの将来について、どんな思いや願いをもっていますか。

メモ

<今日の学習の感想>

【プログラムⅡ-⑤-1】

**テーマ** 学校や地域とのかかわり

**プログラム** 子どもとともに地域で自然と遊ぼう

**ねらい** 自分が子どもの頃にしたい自然体験や、子どもにさせたい自然体験について話し合うことを通して、子どもの成長にどのような自然体験が必要かを考える。

<展 開 (60分) >

| 時間               | 展 開 (進行マニュアル)  | 展開のポイント   |
|------------------|--|---|
| 導入<br>10分        | 1 テーマの説明<br>2 アイスブレイキング<br>・リレー自己紹介<br>・手遊び歌<br>3 「3つの約束」の確認   | ・参加者の緊張をほぐし、グループ内での円滑な話し合いのためにアイスブレイキングを行う。<br><3つの約束><br>① 一人一人が主役です<br>② お互いの意見を尊重しましょう<br>③ ここだけの話にします   |
| 展開<br>(1)<br>20分 | 4 子どもに自然体験をさせることのよさについて考える。<br>① ラベルに記入する<br> 子どもに自然体験をさせることのよさについて考え、付箋に記入しましょう。<br>② ラベルワークを行い、グループで話し合う<br> 付箋に書いたことを一人ずつ説明しながら用紙に貼り付けていきましょう。同じものがあったら、近くに貼り付けて分類しましょう。<br>③ 全体で話し合う | <ワークショップ1 (ラベルワーク) ><br>子どもに自然体験をさせることは、どのようなよさがあるでしょうか。<br>例：「道具の使い方を覚える」<br>「家族との絆を深める」<br>「動植物を大切にする」など<br>・自分が子どもの頃に体験したことを思いだし、その自然体験が心に残っている理由や、その体験を通してどのようなことを学んだかについて話し合ってもよい。 |
| 展開<br>(2)<br>20分 | 5 子どもにさせたい自然体験について考える。<br>① ワーク2に記入する<br> 子どもにさせたい自然体験をワークに記入し、その理由も考えましょう。<br>② グループで話し合う<br> グループで子どもにさせたい自然体験について話し合いましょう。後で、どのような話し合いがなされたか発表してもらうので、発表する人を決めておきましょう。<br>③ 全体で話し合う | <ワークショップ2 (話し合い) ><br>子どもにさせたい自然体験について考え、その理由を話し合いましょう。<br>例：「昆虫を採って育てさせたい」<br>「野菜を育てて収穫し、料理をさせたい」<br>「川や海で遊ばせたい」など<br>・子どもにさせたい理由や、その体験のよさについて話してもらう。<br>・グループでの話し合いの概要を発表し、全体で共有する。   |
| まとめ<br>10分       | 6 まとめ<br>・読み聞かせ<br>・今日の学習の感想<br> 最後に、「びっくりまつぼっくり」という絵本を読みませ。お子さんの成長のためにも、親子一緒に自然体験をおこなっていけるといいですね。  | ・絵本「びっくりまつぼっくり」(多田多恵子文、堀川理万子絵、福音館書店)の読み聞かせを聞き、子どもと自然体験をすることへの意欲をもたせる。<br>・今日の学習の感想を書かせる。  |

## 「(11-5-1)子どもとともに地域で自然と遊ぼう」ワークシート

### ワーク1 (ラベルワーク)

<課題>子どもに自然体験をさせることは、どのようなよさがあるでしょうか。

メモ

### ワーク2 (話し合い)

<課題>子どもにさせたい自然体験について考え、その理由を話し合みましょう。

<今日の学習の感想>

【プログラムⅡ-⑤-2】

**テーマ** 学校や地域とのかかわり

**プログラム** 社会体験で地域とつながろう

**ねらい** 自分が子どもの頃にしたい社会体験や、子どもにさせたい社会体験について話し合うことを通して、子どもの成長にどんな社会体験が必要かを考える。

<展開(60分)>

| 時間               | 展開(進行マニュアル)   | 展開のポイント   |
|------------------|---|---|
| 導入<br>10分        | 1 テーマの説明<br>2 アイスブレイキング<br>・自己紹介<br>・手遊び歌<br>3 「3つの約束」の確認   | ・参加者の緊張をほぐし、グループ内での円滑な話し合いのためにアイスブレイキングを行う。<br><br><3つの約束><br>① 一人一人が主役です<br>② お互いの意見を尊重しましょう<br>③ ここだけの話にします   |
| 展開<br>(1)<br>20分 | 4 自分が子どもの頃にしたい社会体験を紹介する。<br>① ラベルに記入する<br> <p>自分が子どもの頃にしたい社会体験で心に残っていることを3つ紹介しましょう。自分の考えをラベルに記入しましょう。</p> ② ラベルワークを行い、グループ・全体で話し合う<br> <p>社会体験の思い出がない方は、子どもの頃の地域の方とのふれあいなどを紹介してください。心に残っている理由や、その体験を通してどんなことを学んだかについても話しましょう。</p>                   | <ワークショップ1(ラベルワーク)><br>自分が子どもの頃にしたい社会体験で心に残っていることを3つ紹介しましょう。<br><br>例: 「地域の十五夜で相撲をとった」<br>「PTAでナイトウォークをした」<br>「子ども会でボランティアをした」など<br><br>・社会体験の思い出がない方は、子どもの頃の地域の方とのふれあいなどを紹介してもらう。<br>・心に残っている理由や、その体験を通じてどんなことを学んだかについても話してもらう。 |
| 展開<br>(2)<br>20分 | 5 子どもにさせたい社会体験について考える。<br>① ワーク2に記入し、ランキングを行う<br> <p>子どもにさせたい社会体験を出し合い、各グループのベスト3を選び、紹介しましょう。子どもにさせたい理由や、その体験のよさについても考えましょう。</p> ② ラベルワークを行い、グループ・全体で話し合う<br> <p>グループで3つに絞れない時や、順位を付けられない時は、そのまま紹介してもいいですよ。実際にお子さんと一緒に体験されたことがあったら、紹介してくださいね。</p> | <ワークショップ2(ランキング)><br>子どもにさせたい社会体験を出し合い、各グループのベスト3を選び、紹介しましょう。<br><br>例: 「地域の敬老会の出し物」<br>「PTAの清掃活動」<br>「子ども会のリーダー研修」など<br><br>・子どもにさせたい理由や、その体験のよさについても話してもらう。<br>・グループで3つに絞れない時や順位を付けられない時は、そのまま紹介してもらう。                        |
| まとめ<br>10分       | 6 まとめ<br>・読み聞かせ<br>・今日の学習の感想<br> <p>最後に、「ウエズレーの国」という絵本を読みます。お子さんの成長のためにも、親子一緒にボランティアなどの社会体験をやっていきましょう。</p>   | ・絵本「ウエズレーの国」(ポール・フライシュマン作、ケビン・ホークス絵 あすなろ書房)の読み聞かせを聞き、子どもと社会体験をすることへの意欲をもたせる。<br>・今日の学習の感想を書かせる。   |

## 『【11-⑤-2】社会体験で地域とつながろう』ワークシート

### ワーク1 (ラベルワーク)

＜課題＞自分が子どもの頃にした社会体験で心に残っていることを3つ紹介しましょう。

メモ

①

②

③

### ワーク2 (ランキング)

＜課題＞子どもにさせたい社会体験を出し合い、各グループのベスト3を選び、紹介しましょう。

ベスト1

ベスト2

ベスト3

＜今日の学習の感想＞

【プログラムⅡ－⑤－3】

**テーマ** 学校や地域とのかかわり

**プログラム** 先生といっしょに子どもを育てよう

**ねらい** 学校の先生の立場や考え方を理解・共有し、同じ歩調で子どもを育てようとする。

<展 開 (60分) >

| 時間               | 展 開 (進行マニュアル)  | 展開のポイント  |
|------------------|--|--|
| 導入<br>10分        | 1 テーマの説明<br>2 アイスブレイキング<br>・仲間探し<br>・名刺作り<br><br>3 「3つの約束」の確認  | ・参加者の緊張をほぐし、グループ内での円滑な話し合いのためにアイスブレイキングを行う。<br><br><div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">             &lt;3つの約束&gt;<br/>             ① 一人一人が主役です<br/>             ② お互いの意見を尊重しましょう<br/>             ③ ここだけの話にします           </div>  |
| 展開<br>(1)<br>20分 | 4 先生と保護者の立場の違いを考える。<br>① ワークシートに記入する<br><div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px 0;">              先生の職務上の立場や思い・考え、保護者に対する願いを考えてみましょう。           </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px 0;">             保護者の立場や思い・考え、先生に対する願いを考えてみましょう。              </div> ② ラベルワークを行い、グループで先生と保護者の考えの違いを話し合う   | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">             &lt;ワークショップ1 (ラベルワーク) &gt;<br/>             先生と保護者の立場の違いを考えましょう。           </div> 例：先生<br>「たくさん子どもたちに平等に接する」<br>「みんなに成長してもらいたい」<br>「個人差にも対応しなければならない」<br>「多忙である」<br><br>例：保護者<br>「自分の子どもの成長を願う」<br>「自分の子どもにたくさん関わってもらいたい」   |
| 展開<br>(2)<br>20分 | 5 先生とのよりよい関係づくりについて具体例をもとに考える。<br>① グループで話し合う<br><div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px 0;">              具体例をもとに保護者のよりよい相談の仕方をグループで考えましょう。対応後の成果と問題点も併せて考えましょう。           </div> ② 全体で話し合う<br><div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px 0;">             グループで考えた対応、成果、問題点を発表し合い、よりよい関係づくりについての考え方を深めましょう。              </div> ※ 教師の勤務時間の実態や保護者との対応に苦慮していること、学校の公的な立場等にもふれるようにする | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">             &lt;ワークショップ2 (話し合い) &gt;<br/>             先生とのよりよい関係づくりについて考えましょう。           </div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; margin-top: 5px;">             具体例：N先生は、24才の体育大学新卒の男性教師である。Y子は、N先生のは好きであるが、体育嫌いで、特に鉄棒が大の苦手である。月曜日の体育の時間に、Y子が逆上がりができなかったところ、N先生に重点的に指導され、手にまめができるまでがんばったが、できなかった。火曜日から元気がなかったY子であったが、水曜日の朝、とうとう「学校に行きたくない」と母親に訴えた。Y子によると、N先生の指導は、ありがたいし、逆上がりができるようにはなりたいたのだが、体育大卒業のN先生の指導法が大変厳しく、専門的な指導のため、ついていくことができず、体力的にも限界であるとのことであった。しばらくは、鉄棒はしたくないと訴えた。母親は、Y子の訴えを聞き、N先生に相談に行くことにした。           </div> ・あくまでも具体例をもとに話し合い、現実的な話題にならないようにする。特に教師批判にならないように配慮して進行する。 |
| まとめ<br>10分       | 6 まとめ<br>・きょうの学習の感想発表  | ・学習の感想を発表することにより、これからの先生と保護者との連携・協力について、あらためて考える。そのことがひいては子どもの健やかな成長につながることをおさえる。  |

## 『11-⑤-3 先生といっしょに子どもを育てよう』ワークシート

### ワーク1 (ラベルワーク)

<課題> 先生の立場と保護者の立場の違いを考えよう。

先生の立場

保護者の立場

### ワーク2 (話し合い)

<課題> 次の事例について保護者はどのように先生に相談すればよいかを考えよう。

具体例：N先生は、24才の体育大学新卒の男性教師である。Y子は、N先生ことは好きであるが、体育嫌いで、特に鉄棒が大の苦手である。月曜日の体育の時間に、Y子が逆上がりができなかったところ、N先生に重点的に指導され、手にまめができるまでがんばったが、できなかった。

火曜日から元気がなかったY子であったが、水曜日の朝、とうとう「学校に行きたくない」と母親に訴えた。Y子によると、N先生の指導は、ありがたいし、逆上がりができるようにはなりたいのだが、体育大卒業のN先生の指導法が大変厳しく、専門的な指導のため、ついていくことができず、体力的にも限界であるとのことであった。しばらくは、鉄棒はしたくないと訴えた。

母親は、Y子の訴えを聞き、N先生に相談に行くことにした。

メモ

<今日の学習の感想>

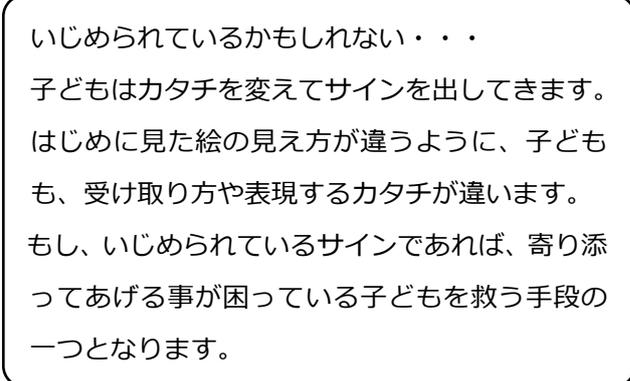
【プログラムⅡ-⑥-1】

テーマ 心の痛みに寄り添う

プログラム名 子どもの心に寄り添う

ねらい 心を痛めている子どもへの関わり方について考える。

<展開(60分)>

| 時間           | 展開(進行マニュアル)   | 展開のポイント   |
|--------------|---|---|
| 導入<br>10分    | 1 テーマの説明<br>2 アイスプレイング<br>・だまし絵<br>3 「3つの約束」の確認   | ・参加者の緊張をほぐし、円滑な話し合いが出来る雰囲気をつくる。<br>・「3つの約束」を確認する。<br>① 一人一人が主役です。<br>② お互いの意見を尊重しましょう。<br>③ ここだけの話にします。   |
| 展開(1)<br>20分 | 4 子どもが心を痛めているときのサインについて、グループで考える。<br>① ラベルに記入する<br> 子どもが心を痛めているときのサインにはどんなものがあるか考え、ラベルに記入しましょう。<br>② グループや全体で話し合う<br> 一人ずつ書いたものについて説明しながら用紙に貼り付けましょう。出た意見を分類し、見出しをつけましょう。<br>それぞれのグループで出た意見を発表してください。 | <ワーク1(ラベルワーク)><br>子どもが心を痛めているときのサインにはどんなものがあるでしょうか。<br>例：「食欲がない」「私物がなくなる」「兄弟に手を出す」「衣類が汚れる」「けがをして帰ってくる」「学校に行きたがらない」「暴言をまく」等<br>・サインによってグループ分けをする。<br>分類例①：家庭内、家庭外<br>分類例②：すぐ分かるもの(表面に出ている)、注意してみないと分からないもの(表面に出していない)  |
| 展開(2)<br>20分 | 5 サインを出している子どもにどう寄り添っていくかを、グループで考える。<br>① ラベルに記入する<br> サインを出している子どもにどんな寄り添い方をしていくか考えましょう。<br>② グループや全体で話し合う<br> どんなことができるか話し合いましょう。参加者どうしでできることを話し合うのもいいですね。<br>それぞれのグループで出た意見を発表してください。          | <ワーク2(ラベルワーク)><br>サインを出している子どもにどんな寄り添い方をしていくか考えましょう。<br>○家庭内で出ているサイン<br>例：「食欲がない子どもに対する言葉かけ」<br>体調が悪いの？おなかいっぱいなの？と声かけをして子どもの話を聞いてあげる。<br>○家庭外で起きている事でのサイン<br>例：「私物がなくなっている子どもに対する言葉かけ」<br>いつなくなったの？困ったね・・・と、物がなくなってしまった事への困りに共感する。無くしてしまったのではなく無くなった事への困りや、悲しみに寄り添いながら傾聴する。 |
| まとめ<br>10分   | 6 まとめ<br>・振り返り<br> いじめられているかもしれない・・・<br>子どもはカタチを変えてサインを出してきます。はじめに見た絵の見え方が違うように、子どもも、受け取り方や表現するカタチが違います。もし、いじめられているサインであれば、寄り添ってあげる事が困っている子どもを救う手段の一つとなります。<br>・今日の学習の感想   | 【トレーナーの促しとして】<br>・子どもへの言葉のかけ方を共有する。<br>・子どもの話をしっかりと聞いてあげることの大切さを学ぶ。<br>・傾聴することで話せる安心感を与えることができる。<br>・今日の学習の感想を書かせる。   |

## 「11-⑥-1」子どもの心に寄り添う」ワークシート

### ワーク1 (ラベルワーク)

<課題>子どもが心を痛めているときのサインにはどんなものがあるでしょうか。

メモ

### ワーク2 (ラベルワーク)

<課題>サインを出している子どもにどんな寄り添い方をしていくか考えましょう。

メモ

<今日のワークを実施し、今後、どう子どもに寄り添っていきたいですか？>

<今日の学習の感想>

【プログラムⅡ-⑥-2】

**テーマ** 心の痛みに寄り添う

**プログラム** 何気ない差別を考えよう

**ねらい** 子どもが差別につながる言動をしたときの関わり方について考える。

<展 開 (60分) >

| 時間               | 展 開 (進行マニュアル)  | 展開のポイント   |
|------------------|--|---|
| 導入<br>10分        | 1 テーマの説明<br>2 アイスブレイキング<br>・仲間探し<br>・自己紹介<br>3 「3つの約束」の確認  | ・参加者の緊張をほぐし、グループ内での円滑な話し合いのためにアイスブレイキングを行う。<br><3つの約束><br>① 一人一人が主役です<br>② お互いの意見を尊重しましょう<br>③ ここだけの話にします   |
| 展開<br>(1)<br>20分 | 4 「何気ない差別」について話し合う。<br>① ワーク1に記入する<br> <p>「何気ない差別」とはどんなことでしょうか？子どもの言動だけでなく、自分の考えをワーク1に記入しましょう。</p> ② グループで話し合う<br> <p>グループ内の皆さんの考えを聞いて、感じたことを話し合しましょう。後で、グループの代表の方に発表してもらいます。</p> ③ 全体の場で発表する | <ワークショップ1 (話し合い)><br>「何気ない差別」ってどんなことでしょう。<br>・気付いていないだけ、自覚していないだけで、いつの間にか差別していることについて考える。<br>例：「兄弟で比べてしまう」<br>「女の子なのに字が汚い」<br>「男の子なのに泣いてばかり」など<br>・個人で考える時間を取った後、グループで話し合い、身近に「何気ない差別」があることに気づく。              |
| 展開<br>(2)<br>20分 | パターンA<br>5 子どもが差別につながる言動をしたときの関わり方について考える。<br>① ワーク2に記入し、ロールプレイングを行う<br> <p>子ども役と親役に分かれて、ロールプレイングをしましょう。気づいたことを後で話し合しましょう。</p> ② 全体の場で発表する  | <ワークショップ2 (ロールプレイング)><br>「今度のリレー大会、〇〇くんと一緒だけど男子なのに足が遅いんだよね」と話した時。<br>例：「〇〇くんも頑張ると思うよ。」<br>「男の子だから足が速いとは限らないよ。」<br>・話し合いでは、ロールプレイングを見た感想だけでなく、これまでの関わり方についても振り返らせる。  |
|                  | パターンB<br>5 子どもから差別につながる言動について相談されたときの関わり方について考える。<br>① ワーク2に記入し、ロールプレイングを行う<br> <p>子ども役と親役に分かれて、ロールプレイングをしましょう。気づいたことを後で話し合しましょう。</p> ② 全体の場で発表する   | <ワークショップ2 (ロールプレイング)><br>「AさんがBさんに、〇〇〇(あだな)と言っているんだよ。Bさんはすごく気にしていて、周りの人も笑っているんだよ。どうしよう。」<br>例：「Bさんは気にしているんだね。〇〇〇という言葉が言われたらどんな気持ちになる？」<br>「Bさんはどんな様子だった？」<br>・話し合いでは、ロールプレイングを見た感想だけでなく、これまでの関わり方についても振り返らせる。 |
| まとめ<br>10分       | 6 まとめ<br>・家庭教育手帳からの引用文紹介<br>・今日の感想   | ・「差別をしない偏見をもたない子どもに育てるために」(文部科学省 家庭教育手帳)を聞き、親自身の姿勢に気付かせる。<br>・今日の学習の感想を書かせる。  |

## 「11-⑥-2」何気ない差別を考えよう」ワークシート

### ワーク1 (話し合い)

<課題> 「何気ない差別」 ってどんなことでしょう。

### ワーク2 (ロールプレイング) パターンA

<場面設定> 子どもがリレー大会の同じチームの子について話してきた時。  
<子ども> 「今度のリレー大会、〇〇くんと一緒だけど男子なのに足が遅いんだよね」



### ワーク2 (ロールプレイング) パターンB

<場面設定> 子どもがあだ名のついている子について話してきた時。  
<子ども> 「AさんがBさんに、〇〇〇 (あだ名) と言っているんだよ。Bさんはすごく気にしていて、周りの人も笑っているんだよ。どうしよう。」



<上記のような場面に限らず、これまでの関わり方について振り返りましょう。>

<今日の学習の感想>

【プログラム II-⑦-1】

**テーマ** 子育て仲間づくり

**プログラム** 子育ての悩みを語り合おう

**ねらい** 子育てに関する悩みを、お互いに伝え合いながら、子どもとの関わりについて考え、相談できる仲間づくりにつなげる。

<展開(60分)>

| 時間               | 展開(進行マニュアル)  | 展開のポイント  |
|------------------|--|--|
| 導入<br>10分        | 1 テーマの説明<br>2 アイスブレイキング<br>・誕生日チェーン<br>・自己紹介<br><br>3 「3つの約束」の確認   | ・参加者の緊張をほぐし、グループ内での円滑な話し合いのためにアイスブレイキングを行う。<br><br><3つの約束><br>① 一人一人が主役です<br>② お互いの意見を尊重しましょう<br>③ ここだけの話にします  |
| 展開<br>(1)<br>20分 | 4 子育てに関する悩みについて、お互いに伝え合い、子どもとの関わりについて考える。<br><br>① ラベルに記入する<br> 「子育てに関する悩みについて、どんなことがあるか考えましょう。」<br><br>② ラベルワークを行い、グループで話し合い発表する<br><br>グループで説明しながら用紙に貼り付けましょう。出た意見を分類し、話し合いました。<br> | <ワークショップ1(ラベルワーク)><br>子育てに関する悩みについて、どんなことがあるか考える。<br><br>例：「子どもが言うことを聞かない。」<br>「しつけの仕方がわからない。」<br>「怒鳴ることが多くて、ほめることが少ない。」<br><br>・出た意見を分類し、話し合う。  |
| 展開<br>(2)<br>20分 | 5 子育ての悩みをかかえこまないためにどうするかを話し合う。<br><br>① ワークシートに記入する<br> 「子育ての悩みをかかえこまないようにするために、できることをワーク2に書きましょう。」<br><br>② グループで話し合う<br>グループでどんなことができるか話し合いました。<br>                                | <ワークショップ2(話し合い)><br>子育ての悩みをかかえこまないようにするために、できることを話し合う。<br><br>例：「完璧を目指さない。」<br>「比べずに自分らしく育てる。」<br>「子育てを相談できる仲間とつながる。」<br>「家庭教育学級などの学びに参加する。」<br><br>・個人で気を付けることだけでなく、相談できる仲間づくりについても考えてもらう。<br>・家庭教育学級などの学びの場があることを紹介する。 |
| まとめ<br>10分       | 6 まとめ<br>・読み聞かせ<br>・今日の学習の感想<br><br> 「最後に「おおきなかぶ」を読みます。一緒につながると大きな力になることに気づき、子育ての仲間づくりができるといいですね。」  | ・絵本「おおきなかぶ」(ロシア昔話 福音館書店)を聞いて一緒につながると大きな力になることに気づき、子育ての仲間づくりへの意欲をもたせる。<br>・様々な力が一緒になって、大きな力になる。子育ても様々な人が仲間となって力を合わせると楽しくなることに気付かせる。<br>・今日の学習の感想を書かせる。  |

## 『(11-①-1) 子育ての悩みを語り合おう』ワークシート

### ワーク1 (ラベルワーク)

＜課題＞子育てに関する悩みについて、どんなことがあるか考えましょう。

メモ

### ワーク2 (話し合い)

＜課題＞子育ての悩みをかかえこまないようにするために、できることを話し合いましょう。

メモ

＜今日の学習の感想＞

【Ⅱ-⑦-2】 テーマ：子育て仲間づくり プログラム：「子育てすごろく」にチャレンジ

スタート

|                             |   |                    |                      |                  |
|-----------------------------|---|--------------------|----------------------|------------------|
| 好きな食べ物は何？                   | 好きな芸能人は？  | 今一番行ってみたいところは？     | グループの人と握手しよう         | 今、気になるニュースは？     |
| 幸せを感じるときは？                  | 今日の晩ご飯はなにがいい？   | 今、一番やりたいことは？       | ストレス発散法は？            | 好きなテレビ番組は？       |
| 朝、どうやって子どもを起こす？             | 今日のラッキーチャンス☆<br><small>誰かが止まったら、他の人も話せるよ！話をした人は全員2マス進めるよ！</small> | 夜、どうやって子どもを寝かしつける？ | 歌を歌うのと聴くの、どっちが好き？なぜ？ | 実は私○○○なんです！      |
| 子どものことで嬉しかったことは？            | ゴール<br><small>日本のひなた宮崎県</small>                                   | 子どもの頃の夢、または思い出は？   | 子どもの頃の夢、または思い出は？     | 最近どんなことで子どもをほめた？ |
| 教えて！パートⅡ<br>あなたのおすすめ時短メニュー☆ | 教えて！パートⅢ<br>わが子のいい所3つ☆  | 宝くじが当たったら？         | 宝くじが当たったら？           | 今日のお昼ごはんは？       |
| 教えて！パートⅠ<br>子どもと行けるおすすめスポット | 教えて！パートⅠ<br>子どもと行けるおすすめスポット                                       | 苦手な食べ物は何？          | 苦手な食べ物は何？            | ラッキー☆☆☆ (3マス) 進む |

A large rectangular frame containing ten horizontal dashed lines, providing a space for writing or drawing.

